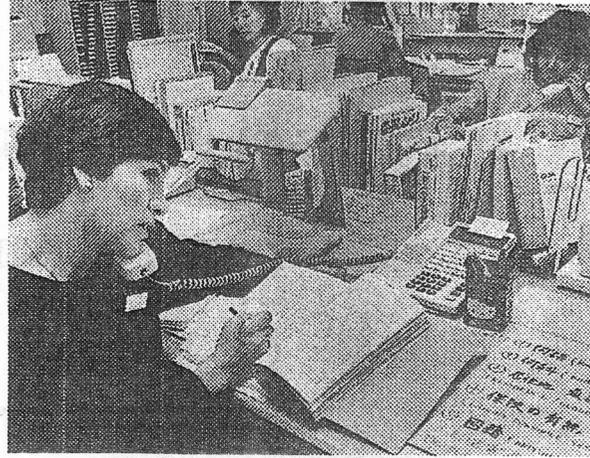


病気・ケガ、どう説明したら……

外国語わかる 医者教えます

電話紹介・リストも

医療団体 など 各地でサービス



外国人向けに医療情報を提供するAMDA
国際医療情報センター（東京・新宿で）

表も発売している。

福岡市の福岡国際交流協会が昨年十二月にまとめた「外国語の通じる医師のいる医療機関リスト」では英、仏語のほかタイ、インドネシア、ネパール、ポルトガル語など計十二万国語のいずれかを話せる医師、歯科医師を紹介。三千部を作り、福

岡市とその近隣市町村在住の外国人に病院、ボランティア団体などを通じて配布した。百六十一ヶ所及ぶリストで、看護婦や受付の事務職員も含め外国語の話せる医療機関勤務者を網羅。百九十二ヶ所の医療機関を掲載している。同協会では「せっかく外国語の分かる医師がいても、取り次ぐ人に話が通じなければ仕方がないので、利用しやすいようにリストを作成した」と話している。

このほか、山口県国際交流協会が英、韓、中の計三万国語が通じる県内八十一ヶ所の医療機関を紹介したリストを九一年度から、熊本市医師会も英、韓、中、仏、独、スペインの計六万国語が通じる市内六十九ヶ所の医療機関を紹介したリストを今年三月から、それぞれ外国人登録窓口などを通じて無料で配布した。

外国人の診療に当たっている横浜市神奈川区の港町診療所の早川寛専務理事は「この病院が診てくれるのかという情報をこれまで外国人は口コミで交換し合ってきたが、リストがあれば病院にすっと行きやすくなる」と歓迎している。

病気がかかったり、けがをしても医師に症状をうまく伝えられない外国人の不安を解消しようと、各地の医療団体や国際交流団体が外国語を話せる医師を電話で紹介したり、医師リストを作成し無料で外国人に配布している。アジアや南米地域の出身者が増えていることから中国語やスペイン語を対象に加えるところも多い。「この病院に行ったらいいかさえも分からなかっただけに、助かると外国人に好評という。

アジア十四カ国の医師でつくるボランティア団体「アジア医師連絡協議会（AMDA）」の国際医療情報センター（東京都新宿区）では電話による医師紹介システムを実施している。英国、韓国、中国、スペイン、タイの

「リストで自ら選ぶより、患者に最適な医師を紹介できる。言語だけでなく、医療習慣の違いもあるので、外国籍の医師も紹介する」（小林米幸所長の説明）

師が私の話をよく聞き、納得する説明をしてから手術に臨んでくれた助かった」と喜ばれた、という。

五カ国語を話せるスタッフが常時待機。相談者の症状や自宅住所などを考慮して、登録リストにある三百人の医師の中から二、三人を紹介する。問い合わせは一月に百八十件前後に上る。

同センターは今年十二月には大阪府と同医師会の後援を得て大阪市内にも関西支部を開く。また症状や病歴、検査項目などを紹介されて転院、手術を受けたいサンフランシスコ在住の米国の男性（34）には「転院先の医

紹介する」（小林米幸所長の説明）

同センターは今年十二月には大阪府と同医師会の後援を得て大阪市内にも関西支部を開く。また症状や病歴、検査項目などを紹介されて転院、手術を受けたいサンフランシスコ在住の米国の男性（34）には「転院先の医